災害時の有効な対策に 地域ぐるみの防災活動が



どんな組織?

自主防災組織は、地域住 民が自主的に連帯して、防 災活動を行う組織のことを 言います。

具体的には、平常時に防 災訓練や広報活動、災害時 には初期消火、救出救護、 集団避難、避難所への給 水・給食などの活動を行い ます。

自主防災組織は、地域の 住民が組織結成に合意し、 規約、組織、活動内容を定 めることで成立します。

い場合が想定されます。 けでは、充分な対応ができな きな被害が出ました。 阪神・淡路大震災では、 このような時、 大規模な災害が発生した場 消防署などの防災機関だ 住民が一致

災組織の必要性があります。 とができます。ここに自主防 むことで有効な対策をとるこ 協力し、地域ぐるみで取り組 出された人たちの約6割

いくのです。

発生し、各地に大きな被害が 重な財産が失われるなど、 集中豪雨により、 大規模地震などの自然災害が 広島県内でも、 近年、大型台風や集中豪雨、 尊い命や貴 昨年7月の 大

もいます。 害時に支援が必要な要援護者 がかかったりする人など、 ないと生活できない人、理解 組むことが、災害時、 や判断ができなかったり時間 が困難な人、薬や医療装置が けではなく、家族、近所の人、 一丸となって防災活動に取り 互いに協力し合い、 地域には、 自分の力で移 自分だ 地域で 災

尊い命を守ることにつながっ わす人など、一人でも多くの 何気なく地域であいさつを交 家族や近所の人々により救 出

主的な住民組織の有効性が されたという報告があり、

めて認識されています。

自 改

専門家や先進地域から自主 防災について学ぶ

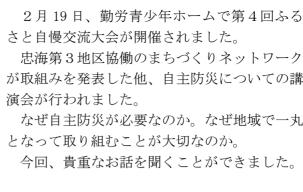
主

災害時、

危険になる前に自

的に避難をすることを自主

被災事例を見ると、いよい



らといって、 備えること。そして、自主避難 ミュニケーションをとり、 切なことは、日頃から地域がコ せていくことが必要です。 が連携し、 ではなく、 のタイミングを図ることです。 自主防災組織を設立したか 難と言います。自主避難で大 災害に備えて地域 防災活動を充実さ 万全というわけ 災害に

間にグラウンドで実施したら、 段階的に実施してください。昼 例えば、 訓練を行う場合は、

防災の専門家に聞く

減災塾塾長 籠田

純士さん

元広島県危機管理対策監

2 回 に避難する訓練、 れらに応じた訓練が効果的です。 時間は、状況で変わるため、そ に訓練するといったように。 自主避難準備・避難に要する 目は自分の家から避 3回目は、 難

くなります。 な場合、避難経路が非常に危険 るケースが多いです。このよう よ危険になって慌てて避難す 早めに避難して何も起こらな 途中で被害に合うことが多

のです。 なっても、 と思ってください。空振りに なく、「何もなくて良かった」 たと避難を無駄に感じるのでは かったら、「空振り」に終わっ 早めの避難が大切な

もに、「避難計画」や「防災マッ 含めた災害訓練などに取り組 団体との連絡体制を築くとと 理意識が一気に高まりました。 害により、 た平成11年6月29日の豪雨災 した。そして、 プ」の作成、 自主防災会では、 地区住民の危機管 広島で起こっ 行政や他

することも大切だと思います。

地域のみなさんの理解を得

て、

体制を整えるのに、5年

加しやすいよう、工夫も凝ら

地域のみなさんが訓練に参

しています。楽しめる内容に

防災意識の高揚を図りました。

確認しながら実施し、

参加者

活避難場所運営マニュアル」を

ちでできることはあります。 性があります。しかし、 日間は誰も助けてくれない可能 自主防災訓練も市が中心では 大規模な災害が起これ 地域の主導で行っていま 自分た ば、 3

訓 練 は、 「防災マップ」と「生



自主防災会連合会を設立しま 阪神淡路大震災をきっかけに、 んでいます。 島市安佐南区伴地 夜間宿泊訓練を 区で は

先進地 。 リ ー ダーに聞

防災活動の一環になります。

積極的につくっていくことが ミュニケーションできる場を だことを地域に伝えるととも

行事などで地域住民

が

も重要です。リー

ダーが学ん

す。そして、リーダーの育成

はゆっくりと育っていきま かかりました。自主防災組織

3

地域で自主防災の取組みが 進んでいます

田万里町自主防災会 敬完さん 会長 福田

組田 織が設立万里町で自主防災

田

万町では、平成19年4月、

作成」を掲げ、 てきました。 て「自主防災組織の設立」と 5年間の重点事業の一つとし 議会を設立しました。 田万里町協働のまちづくり協 防災マップ・マニュアルの 取組みを進め 設立後

一織の役割について話し合う 協議会において、 「協議会とは別に、 自主防災 災

> げ 築かなければ。」と、昨年12月、 めには、 行政の救援はなかなか届かな 害に特化した専門組織を立ち 田万里町自主防災会を立ち上 上げよう。災害が発生したら、 ました。 自分たちで地域を守るた 実際に動ける体制を

り、 施しました。 能させるための防災訓練も 1月には、住民40人が集ま 防災会の指揮命令系統を

実

際の災害に対応するのは難し その時限りの訓練では、 実

> \ \ \ たいですね。 対応することを常としていき り、市と情報を共有しながら、 策本部である公民館に集ま てもよいので、 れた際には、 今後は、 空振りに終わっ 大雨情報が出さ 役員が災害対

> > 合わせください。

携しながら確実に動ける体制 場所での宿泊や給食など後方 づくりを目指していきます。 そできる強みを発揮し、 支援をしたりと、地域だからこ 情報を行政に提供したり、避難 地域でなければ分からない 、市と連

RE THE

問い合わせ 防災活動に関する情報を お知らせします 総務課行政係 料水や毛布等の生活に必要な 市では、この間の食料・ 22 7 7 1 9

4

講師の派遣についての自主防災組織の設立や ご相談に応じています

地域での課題など、 相談ください。 相談に応じています。 設立を検討している団 設立に当たっての準備や 市では、 自主防災組織の 市にご 体の

派遣も行っています。 防災の専門的な知識につい する先進地の事例や、 て講演していただく講師の 希望する団体は、 また、自主防災組織に関 お 問 自主

備蓄をすすめています 災害時に必要な物品の

能性があります。 からの支援が困難になる可 の経路による供給や外部 大規模災害が発生した場 発災後3日間は、 平常

います。

に努めています。 物資の備蓄をすすめるととも 援協力体制により、 定締結及び他の自治体との応 関係機関や事業所との協 確保対策

援します 防災士の資格取得を支

災士機構が認定した人たち として、NPO法人日本防 のことを言います。 意識・知識・技能をもつ者 活動をするために、十分な な場で減災と防災力向上の 防災士とは、 社会の様

災についての基礎的な知識 ためには、研修を受け、 得に関する情報を提供して を学ぶ必要があります。 市では、 防災士の資格を取得する 防災士の資格取 防

ください。 詳しくは、 お 問い合わ せ

災

平成住

19 民自治

組織として取り H 組織立

ち上

げ

組前の

忠海第3地区協働のまちづくりネットワーク 事務局長 梨和 正幸さん 会長 大本 貴志さん



忠海第3地区協働のまちづくりネットワークの防災部会が 作成した防災マップ試案の一例

1/ ふるさと自慢交流大会 参加者の声

今後、防災マップについての調査研究を行ううえで、 作成の取組み事例などが特に参考になりました。マップ には、炊き出しマークや防災時に使用する道具マークな ど、細かい項目を記載していくのも良いと思いました。

> 竹原第1地区協働のまちづくりネットワーク会長 中尾 泰美さん

実際の災害を想定した訓練で、多くの住民が参加さ れ、近所同士の協力体制ができあがったことに感心し ました。訓練を実施するまでには、大変な時間と労力 がかかったことと思います。1つ1つの地道な積み重 ねが大切だと感じました。

忠海第2地区住民自治組織設立準備委員 清水 貢さん

い民 ることが分かりました。 が地域に T ケート結果をふまえ 「安心」をもとめて

交流」「防犯」部会を設け、そ指すこととし、「防災」「福祉・ つくっていくことにしました。 れらの活動を通して、人と人と が立ちあがったのです。 長きにわたって、 $\overline{\mathcal{O}}$ そうして、 絆を深め、 害 防災部会では、 検討を始めてから4年間 強い 忠海第3地区を目 安心できる地域を 住民自治組織設 今年度、 やっと 組 槽

 \mathcal{O}

組みま 火水槽などの設備も確認。 ある箇所を調べ、 土砂崩れなどの

づくりも検討していきます。 試案をどう活用していくかが課 会が一体となって動ける体 今後は作成した防災マップ また、 災害発生時に3 \mathcal{O}

声が多く、

また、

地域で助け合

「災害時

出

その結果、テーマとして「防

「高齢者支援」を希望

する

の立

ケートを実施しました。

マを検討するため、一人1

 \mathcal{O}

プの 試案づくりに取 実際にまちを歩 消火器や防 危険性が

どの意見も出ました。 消火器が少ない」「防火水 表示が分かりにく 「地域に備え付 な け

活動後、

におい、 合わせください。 に土のう袋を支給して 行う自治会や住民自治 市で 希望する団体は、 または自主防 て、 は、 土のうづくりを 梅雨 や台 災訓 お 風 組織 問 練 \mathcal{O}

自治会や住民自治組



給していますに災害用土のう袋を支